

強運を引き寄せる 47 のルール

神さまが、こっそり教えてくれた 井内由佳 PHP 文庫

「何をしてもうまくいく、いつも運のいい人」「常に頑張っているのに、なぜか運の悪い人」
両者を分けるものは、ほんの僅かな“考え方や習慣の違い”だった！

はじめに～運を味方につければ、人生は思い通り！

私は 26 年前に神さまからお告げを頂きました。それ以来、いつも神さまとお話ししながら暮らしています。ところが、それは、たった 2 週間で終わり、その後の 5 年間は辛い事ばかりで、神様に好かれれば、それなりのご褒美が、嫌われればそれなりの罰が与えられることを知ったのです。こっそり教えていただいた運が上がる事を実行していたら、とても“とてもいい女”になってきたのです。まず、普通の主婦が本を出し、累計 25 万部も売れ、あこがれているスターに、ことごとく会えたことでした。桑田佳祐ファミリー、ポール・マッカートニー、今一番大好きなミスターチルドレンの桜井和寿さん～なんだかラッキー“神さまは、いつもその人が人にした事と、された事が同じになるようにお力を働かせています”人からしてもらうより、してあげたことが多い人は、神様から“その多い分、神があなたのして欲しい事を与えますね”と運をくださいます。この本の中の気になる事から、先ず始めてみてください、一つの考え方が身についた時が幸せな人生のスタートです。

1章 家族と人間関係のルール

1. いつも運のいい人は、他人の為にあえて嘘をつく～なぜか運の悪い人は、自分の為に言い訳をする。人を守ろうとして優しい気持ちでつく嘘は誰かの役に立つ事があるけれど、いい訳は殆ど自分を守ったり、引き立てたりする為のもので運を落とす事に。実は、隠し事は嘘より、さらに運が落ちる行為です「いい訳、と隠し事はしない！」
2. いつも運のいい人は、年上の部下と敬語で話す。なぜか、運の悪い人は、年下の上司とタメ口で話す。運が良くて、やる事がどんどん良い結果を出す人の共通点は、優先順位と序列が分かっている人です。「人の役に立とうとするなら、ボランティアに行くより、先ずはあなたを育ててくれた親が先でしょう」義理の親も大事です。1 歳でも年上の人には、職場での立場がどうあっても敬語を使う。
3. いつも運のいい人は、まず家族に心かける。なぜか運の悪い人は、利益をもたらす人に、心かける。親孝行の基本は“いつも心をかけて、寂しい思いをさせない事”仕事で顧客を満足させるには、先ず“パートナー満足”をさせてあげる事が近道！夫・妻・子を喜ばせたい人は相手が喜ぶ考えが自然に身について仕事にも役に立つ
4. いつも運のいい人は、まず親に迷惑をかける。なぜか運の悪い人は、先ず、他人に迷惑をかける。神様は、「たとえ子供が社会人になっても、子供が結婚する迄は、親が責任をもってバックアップしてあげなさい」と「もし迷惑をかける事になるのだったら、先ずは親から」だとも。返済する順序も間違えない、親・身内は最後に他人優先。

5. いつも運のいい人は、家族と程よい距離感を保っている。なぜか、運の悪い人は、家族に「過干渉」か「過放任」する。程よい距離を保つのが仲の良い家族の秘訣！
6. いつも運のいい人は、友人の嬉しさをともに喜ぶ。なぜか運の悪い人は、友人の悲しみに同情する。同情は、愛ではなく、いい事を祝福してくれる人には愛情がある。
7. いつも運のいい人は、人の隠しごとに頓着しない。なぜか運の悪い人は、人の隠し事に首を突っ込む。やたらと隠し事の多い人も運を凄く落とす。最も質の悪いパターンは自分が引き立ちたいばかりに隠し事をする人です。人の隠し事は詮索しない事。
8. いつも運のいい人は、人の評価に腹を立てない。なぜか運の悪い人は、人の評価に腹を立てる。怒りっぽい人の共通点は「自分には甘いのに、周りの人には多くを求めてしまう、期待通りに行かないと腹を立てる」今一つは「自己評価が高く自意識過剰」
9. いつも運のいい人は、人の話をよく聞いて、人を褒める。なぜか運の悪い人は、自分の話ばかりして、自慢する。本当に凄い人のことは周囲の人が誉める。
10. いつも運がいい人は、目上の人に敬意を払う。なぜか運の悪い人は、誰にでも平等に接する「自分の立場をわきまえている人は目上の人や立場が目上の人に敬意を持っている」威張る人は媚びる事と必ずセットになっている「嘘、言い訳、隠し事」
11. いつも運のいい人は、云うべき苦言を率先して言う。なぜか運の悪い人は、云うべき苦言を誰かに押し付ける。神様の好きなタイプは“相手に損をさせるのがもっとも嫌な人。自分の大切な他人の為に、あえて言いにくい事を言える人、悪役になる人”

2章 お金と仕事のルール

12. いつも運のいい人は、人の為に喜んで、お金と時間を使う。なぜか運の悪い人は自分にしか、お金と時間を使わない。人の為に時間とお金を出し惜しみしない。
13. いつも運のいい人は、他人損をさせない事、を優先する。なぜか運の悪い人は、自分が得するかどうかで判断する。「自分さえよければいい」といった気持ちが根底にある時が、自分にとって一番悪い結果がでる。他人の為に喜んでお金を使う。
14. いつも運のいい人は、お金や財布を丁寧に扱う。なぜか運の悪い人はお金や財布を適当に扱う。お財布の外側も内側も、いつもきれいな状態に保っておく。レシートは毎日取り出し、カードは別に持ち歩く、お札は金種別に同じ向きで揃える。
15. いつも運のいい人は、お金より生活の質を確保する。なぜか運の悪い人は、生活の質よりお金の量を確保する。経済的に可能なら、なるべく職場に近い場所にすると、生活の質を向上させることが出来る。家を買うなら、広さより通勤の時間を優先する。
16. いつも運のいい人は、お金を使う時に潔く出す。なぜか運の悪い人は、お金を使う時に言訳をする。お金を使う時に喜びがある人と、後ろめたさ・罪悪感のある人の差
17. いつも運のいい人は、自分のお金で好きなものを食べる。なぜか運の悪い人は人のお金で高いものを食べる。「ケチな人に、いい人はいない」ケチかどうかは「人のことにお金を使いたくないという気持ちが強い」と「モノやお金に対して慾張り」だ。
18. いつも運のいい人は、人から「おかげさま」と言われる。なぜか運の悪い人は、人

- に「おかげさま」と言わない。お金は「人から好かれている人・人が喜ぶようなことをしている人」が好きなのです。一生懸命仕事に打ち込んで、節約に励んでもお金の心を掴まなければ、自分の所にお金は仲間を連れてきてくれません。お金の魂あり！
19. いつもうんのいい人は、閃きをすぐに書き留める。なぜか運の悪い人は、閃きをすぐ忘れる。チャンスをつかむ人は、いつも考えているのでチャンスが来たときに逃さない。“ファーストクラスに乗るお客様で、自分のペンを持たないお客様はいない”と、元JALキャビンアテンダントの美月あきこさん。手帳とペンを持ち歩く習慣をつける。
20. いつも運のいい人はライバルを仲間だと思って成功を喜ぶ。なぜか運の悪い人は、ライバルを敵視して失敗を喜ぶ。ライバルを敵と思わず、仲間と思う「同業者を良く研究すると、そこに突破口が見つかる」
21. いつも運のいい人は、信頼できる人にも恩人の悪口を言わない。なぜか運の悪い人は親しくない人にも恩人の愚痴をこぼす。恩のある人で一番多いのが、勤務先の社長でお給料を下さり、自分を雇用してくださった人です。そして経営者ならお客様。
22. いつも運がいい人は、お金にならない仕事も引き受ける。なぜか運の悪い人は、お金にならない仕事は引き受けない。幹事役を喜んで引き受ける人は凄く運が上がる、誰かの為に何かをやろうとする気持ちに対して不思議な力が大きく働くのです。

3章 マインドのルール

23. いつも運のいい人は、心と言葉が一致している。なぜか運の悪い人は、心にもない事を云う。自分の思い通りのお人生を歩みたいなら“思いと言葉を一致させる”
24. いつも運のいい人は、意識的に部屋の空気を入れ替える。なぜか運の悪い人は、部屋の空気の悪さに気が付かない。部屋の空気を入れ替えするように心の中の感情も意識して入れ替えをする、運気は、きれいな気持ちの人についてくるものです。
25. いつも運のいい人は、人からうらやましがられようとしない。なぜか運の悪い人は、人からうらやましがられようとする。虚栄心は捨てましょう「百害あって一利なし！」
26. いつも運のいい人は、きちんと説明する。なぜか運の悪い人は、しなくていい言い訳をする。いい訳の多い人は人から信用されないだけでなく、自分を反省とか、努力しなくなるので、いい結果を出せません。いい訳は口にするだけで運を落とします。
27. いつも運のいい人は、いい言葉で心を育む。なぜか運の悪い人は、悪い言葉で心を蝕む。「水は答えを知っている」(江本勝著・サンマーク出版)水に“ありがとう”とか“大好き”と語り掛けて凍らせるとその結晶は宝石のようにきれいな形で、バカ野郎、死ね、等の暴言を吐いた方の水は形にならず、得体の知れない姿をしているのです。いい言葉を聞いて水の結晶が美しくなる様に人の心もいい言葉を聞き美しくなります。
28. いつも運のいい人は、反省するが後悔しない。いつも運が悪い人は、後悔はするが反省はしない。一番強く後悔するのは、やって失敗した事ではなくて「わかっているのにやらなかった」事に対してです。後悔せずに、反省する習慣を身につける。
29. いつも運のいい人は。人の知見を学びたがる。なぜか運の悪い人は、自分の知見

- を教えたがる。自分の知っていることは、世の中の全体からするとほんの一部だという自覚をもって、常に学ぼうとする心を持つことが人生でいい結果が出せる生き方です。
30. いつも運のいい人は、他人からの真実の評価を知りたがる。なぜか運の悪い人は、他人からの真実の評価に腹を立てる。人からの意見や批判を受け入れようとする、謙虚な人は、その生き方に神さまが好意を持ってきて、運も上がっていくのです。
31. いつも運のいい人は。人の気持ちを考えて感情を表現する。なぜか運の悪い人は、人の事情を考えずに感情を表現する。優れた人格者だと思ふ方は、皆さんいつも穏やかです。人を許せる力が大きい人が「器の大きい人」人の器とは、神様のお力を受け取る器の事、人が誰かに対して怒っている事の殆どはかつて自分が人にした事

4章 神さまのルール

32. いつも運のいい人は、神棚や仏壇を太陽の昇る方向に向けて置く。なぜか運の悪い人は、神棚や仏壇の位置に頓着しない。家の中では、自分にとって大切なものは、東を向けて置くのがいい、と神さまはおっしゃいます。
33. いつも運のいい人は、欠けた印はすぐに作り替える。なぜか運の悪い人は、欠けた印をそのまま使い続ける。欠けた部分はお金の出口を意味し、お金が出て行ってしまいうそうです。良い印鑑の条件は ①欠けていない事 ②実印は、男女とも姓名が入っている事 ③実印の大きさは男性 15 ミリ以上、女性は13・5 ミリのもの ④印鑑の持つ部分が寸胴で、印鑑自体に天地を示す印のない物 ⑤認印であっても丸いもの
34. いつも運のいい人は、神様の「サイン」に気付く。いつも運の悪い人は、神様の「サイン」を見逃す。厄年は迷信だそうです。姓名判断では、その吉兆よりも、命名する時に、親が子供の名前に思いを込める事、相手に伝わりやすい名前がいいこと。「方位は、その人のこれからを示唆する」家の中心から見て北東の線上に門・玄関・(お金のトラブル)トイレ(病気を招きやすい)があるのはよくない。一番肝心な事は、そのサインの意味が分かって、お金とか病気に思い当たることを改める事です。
35. いつも運のいい人は、顔にあらわれる合図を気にする。なぜか運の悪い人は、顔にあらわれる合図を気にしない。全ては神様と師匠の戸村和男先生から教わった事で鼻の幅から口に向かうゾーンに黒子があると、お金の事で苦勞する事になる事が多いので、自分がどちらに当てはまるかよく考え、癖を治し、出来れば取ったほうがいい。
36. いつも運のいい人は、考え方を変える事で良い結果を出す。なぜか運の悪い人はやり方を変えても同じ結果を繰り返す。散財しない為の考え方は「貯蓄に励み過ぎない」それと「ノーリスクの儲け話などない」事を理解しておくことです。
37. いつも運のいい人は優先順位を見極める。なぜか運の悪い人は、優先順位を見誤る。運の大きさは、ものごとの優先順位や強弱で決まる。とてもお世話になった恩人の子供が結婚で電報だけ、仕事関係でこの人に奮発しておけばと数万円プレゼント等
38. 運のいい人は、自分だけのパワースポットがある。なぜか運の悪い人は、著名なパワースポットに行きたがる。私と一緒にいった 7 人全員が凄いパワーを感じたのは宮崎

- 県の天岩戸神社です、心にこびりついた垢が取れ、とても爽やかな風を感じました。
39. いつも運のいい人は、常に玄関とトイレがきれい。なぜか運の悪い人は、来客時だけ玄関とトイレの掃除をする。玄関はお金の入り口、トイレは病気の出口だからです。近藤麻理恵さん“人生がときめく片づけの魔法”(サンマーク出版)は大ミリオンセラーで日本を越えてアメリカでも大ベストセラーになった。片付いた場所は落ち着きます。
40. いつも運のいい人は、気軽に行ける距離にお墓がある。なぜか運の悪い人には、遠方にお墓がある。ご先祖様が自分の子孫を苦しめる事は絶対にありません。お墓に行き手を合わせ、お礼を言う事でああなたの心が清められ高まります。
41. いつも運のいい人は、朝を大事にする。なぜか運の悪い人は、朝を無駄にする。太陽が昇っていく時間は“開いていく時間”沈んでいく時間は「閉じていく時間」で、太陽が昇る時間は地球全体のエネルギーが高まる時間で午前中を大切にしましょう。
42. いつも運のいい人は、お彼岸を先祖感謝の日と、とらえる。なぜか運の悪い人は、祝日の一種だと思っている。お墓参りに日で、仏事を行い、慶事は行わない。
43. いつも運のいい人は、先人のしきたりや知恵を大事にする。なぜか運の悪い人は、先人のしきたりや風習を軽んじる。先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口の6曜は迷信ではなく、格言は先人の残した生活の知恵・人間洞察です！大切にしましょう。
44. いつも運のいい人は、六曜の意味を知っている。なぜか運の悪い人は、六曜を暦の飾りだと思っている。先勝は“先んずれば即ち勝つ”友引は“友を引く”結婚式など幸せを次に渡す意味。先負「先んずれば即ち負け」午前中は凶、午後は吉日。仏滅「仏も滅する大凶日」何事も遠慮する日。大安“大いに安し”全てにおいて吉日。赤口「万事に用いない悪日」但し法事は良い、朝夕は凶、公示・訴訟を避け火・刃物注意。
45. いつも運のいい人は、瞑想で自分の本心に気づく。なぜか運の悪い人は、瞑想する本心に気づかない。瞑想の前に必ず、ありがたかったことを沢山思い出して、強く感謝します。意識を呼吸に集中させて、浮かび上がってくる感情、目に浮かぶ情景を受け止め、神様に今日の反省をして神さまに“一番いいようになりますように”と願う。
46. いつも運のいい人は、神様の気配を感じて生きる。なぜか運の悪い人は、目に見えるものだけを信じる。瞑想は、自分の夢や希望を明確にし、それをありありとイメージできる貴重な一時であると共に、生活の質を上げてくれる大切な時間です。筆者は和室に神棚を祀って、その前で瞑想しています。この場所が神様と一番繋がる場
47. いつも運のいい人は、偶然を、ありがたく受け取る。なぜか運の悪い人は、偶然を、あたりまえに受け取る。目に見えない存在に、畏敬の念を持つ。

(おわりに)

運を上げる為の考え方の極意は、一生懸命努力しても、なかなかいい結果が出なかった人が、考え方を少し変えただけでいい結果が出るようになった、とご報告を頂くことがこの仕事をさせていただいている上での一番の喜びです。この本をお読みくださった、あなたの運が上がるのが、私とあなたの共通の喜びです！

井内由佳